
第1回 日野市介護保険運営協議会
第1回 日野市地域包括支援センター運営協議会
第1回 日野市在宅高齢者療養推進協議会
第1回 日野市地域密着型サービス運営委員会

要 点 録

[日 時] 令和7年8月1日（金）18：30～20：15

[場 所] 日野市役所2階 職員休憩室

[出席委員] 14名

[内 容]

《開 会》

介護保険運営協議会

《議事》

- (1)第5期日野市高齢者福祉総合計画の進行管理について
- (2)第6期日野市高齢者福祉総合計画のための基礎調査項目の検討について

在宅高齢者療養推進協議会

《報告》

- (3)日野市在宅療養支援センターについて

地域密着型サービス運営委員会

《報告》

- (4)地域密着型サービス事業者の公募について

地域包括支援センター運営協議会

《報告》

- (5)日野市地域包括支援センターの職員及び運営の基準に関する条例、
施行規則の改正等について

【資 料】

- ・議事次第
- ・【資料 1-①～⑥】第5期日野市高齢者福祉総合計画進行管理表【重点事業】
- ・【資料 2-①】調査票案（1）介護予防日常生活圏域二エズ調査
- ・【資料 2-①】調査票案（2）在宅介護実態調査
- ・【資料 2-①】調査票案（3）在宅生活改善調査
- ・【資料 2-①】調査票案（4）居所変更調査
- ・【資料 2-①】調査票案（5）介護人材実態調査
- ・【資料 2-①】調査票案（6）医療機関
- ・【資料 2-②】調査項目一覧（1）介護予防日常生活圏域二エズ調査
- ・【資料 2-②】調査項目一覧（2）在宅介護実態調査
- ・【資料 2-②】調査項目一覧（3）在宅生活改善調査
- ・【資料 2-②】調査項目一覧（4）居所変更調査
- ・【資料 2-②】調査項目一覧（5）介護人材実態調査

- ・【資料 2-②】調査項目一覧（6）医療機関
- ・【資料 2-③】第 6 期日野市高齢者福祉総合計画のための基礎調査項目の検討について
- ・【資料 3】日野市在宅療養支援センターについて
- ・令和 6 年度第 3 回要点録案
- ・【資料 1-②】差し替え分
- ・調査票意見回答用紙
- ・日野市介護保険運営協議会等委員名簿
- ・日野市介護保険運営協議会等事務局名簿

[議事要旨]

《開 会》

- ・委員数 17 人中 14 名出席。半数以上の出席のため会議成立。
- ・会議の内容について正確を期するため録音をさせていただく。
- ・議事録については要点録として公表させていただく。

※議事都合により次第順番変更

《在宅高齢者療養推進協議会》

(3)日野市在宅療養支援センターについて

～事務局より説明～

～質疑応答～

委 員：利用者の通信販売に関する相談案件があり、消費生活センターへ相談した。

本相談窓口の弁護士への相談の方が良いのか。

事務局：消費生活センターへの相談で解決するものは従前どおりとし、弁護士への相談が必要となれば、高齢福祉課へ連絡を。

委 員：訪問診療だけでも対象者が増え、今後病院崩壊する時代をむかえようとする中、今後民間、公的関わらず、医療ソーシャルワーカーの配置が必要と考える。診療所でできること、病院、入院でないとできないことがある。病院の中にも相談窓口を作って進めていった方が良い。

《地域密着型サービス運営委員会》

(4)地域密着型サービス事業者の公募について

～事務局より説明～

令和 4 年度第 3 回、令和 5 年度第 1 回の運営委員会で、定期巡回随時対応型訪問介護看護と、看護小規模多機能型居宅介護については、事業所数が不足しており、整備のため公募を行う旨伝えていたが、今年度、両サービスについて公募を行うこととした。

公募決定に際し、市内地域包括支援センターほか各事業所へ現状確認のためのアンケートを実施し、現在も両サービスについては不足している状態であることを確認した。

整備数は各 1、整備時期は令和 8 年度まで、公募地域は市内全域で、空白地域を優先の予定、広報掲載は 11 月、プロポーザルは 2 月、公募の詳細は、市ホームページにて周知予定。事業者決定後、本運営委員会にて報告する。

～質疑応答～

委 員：公募については、広報先行か。

事務局：広報は紙面が多く取れないため、公募実施時期等を掲載し、詳細は市ホームページにて11月1日から案内の予定。

委員：看護小規模多機能型居宅介護については、ニーズが高い。現場にも行っているが、重度の方をギリギリで見ている状態。今後は、事業性が非常に乏しいということもあり、看護師の労働環境の確保のため、ある程度、訪看分野を統合していく形の事業展開が必要と考える。

選定事業者については、市内実績のあるところ等、市で厳しいチェックを行ってほしい。

副会長：市内は、訪問看護事業所が増えてきたが、重症者を見るところは増えていない。看護小規模多機能型居宅介護は数が足りていないため公募は行いうが、重症者を見ることができる事業者の選定をお願いしたい。

委員：公募の際には、人員体制、財務上からの事業体制のチェックが必要。

《介護保険運営協議会》

(1)第5期日野市高齢者福祉総合計画の進行管理について

～事務局より説明～

～質疑応答～

委員：「1303 高齢者見守り支援ネットワークの充実」について、対象高齢者数 80 人は、全員が一対一の見守りとマッチングができたのか。マッチングができなかった方への対応、また、推進員について、活動ができなかった方への対応は。
以前緩やかな見守りについても推進していくとの話があったが、その報告を。

事務局：80 人は、マッチングができている。

推進員は、圏域毎に人数が異なる。やる気のある方の活動場所について、検討部会等で活動の機会の検討を行っている。

緩やかな見守りについては、事業主へ協力の呼びかけを各種媒体で行っている。

委員：緩やかな見守りについては、地域包括支援センターが事業所をまわるなどご苦労されて行っている。その点も報告書に記載した方がよい。

委員：「介護人材の確保」については、全国共通の課題である。明らかに介護支援専門員の受験者数、合格者数が減少している。介護の学校も閉校している。介護を学びながら一般企業へ就職する方もいる。若者の介護職への就職が減っている中、現在、50 代後半から 60 代の方をケアアシスタントとしてハローワーク経由で採用している。今後、介護人材については、高齢者の方々の活躍、スタートアップを応援するような施策を実施いただきたい。

事務局：ご意見を検討し有効な施策を考えていきたい。

委員：「1303 高齢者見守り支援ネットワークの充実」について、数年前団体に対し募集があった。その際、複数の会員が参加した。現在新しい会員もいるため、参加について定期的にアナウンスすれば、新しく入りたい協力事業所が出てくるのではないかと。

(2)第6期日野市高齢者福祉総合計画のための基礎調査項目の検討について

～事務局より説明～

～質疑応答～

委員：出典元資料を教えてほしい。医療法の一部改正の内容と合致しているのか知りたい。

また調査スケジュールを再確認したい。

事務局：介護予防接種日常生活圏域ニーズ調査についてはまだ国から示されていない状態で、現状のアンケート案は前回はベースに作成している。この後、第２回協議会までには、国から出てきたものを反映させ提示したいと考えている。

スケジュールは、現行案についての意見を８月１２日までに一旦集約したい。

第２回運営協議会で再度調査項目について提示し、実際のアンケート実施は、１１月の予定。その後１２月以降２月ぐらいまでかけて調査の分析と報告書の作成を進め、第３回の協議会にて調査結果の概要の部分について報告したいと考えている。報告書については３月までに作成予定。

会 長：調査については、国で決めた大きな枠の中で、市独自の項目を足し引きしながら過去からの積み重ねで行ってきた。連続性の観点から大幅な変更や大幅な追加は難しい。

事務局：基本的には経年の状況を把握するということも目的の１つになっているため、大きな変更は難しい。伝わりにくい文言等修正できる部分については、ご意見を反映したい。

《地域包括支援センター運営協議会》

(５)日野市地域包括支援センターの職員及び運営の基準に関する条例、施行規則の改正等について

～事務局より説明～

日野市地域包括支援センターの職員及び運営の基準に関する条例、施行規則の改正等については、所定の手続きを経て、令和７年４月１日より施行開始している。

本件に合わせ諮った条例施行規則改正に係る職員配置基準の運用方法の案にて定めた常勤換算の方法について、現在、包括からの申し出はなく、運用実績がない状況である。

～質疑応答～

なし

[閉会]